

# 公安委員会定例会議(第1回)の開催状況

第1 日 時 令和5年1月11日(水)

午後1時30分 ～ 午後3時15分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

本日は、「人口減少」についてお話しします。

最近、講演会等でよく耳にするのが「人口減少」問題です。我が国政府も人口減少の克服に向けた取組を不断に見直しながら各種対策を推進しており、国民が一丸となって考える必要がある重要課題の一つです。

世界の人口は、2030年に85億人、2050年に97億人に達し、2080年には100億人を超える見込みです。しかしながら、これは貧困国の人口が増加することによるもので、日本を含む先進国の人口は年々減少すると見られます。

日本の人口がこのまま減少すれば、必然的に生産者人口や労働力人口が減少し、今日の生活レベルを確保することが困難になると指摘されているところ、この打開策の一つが「外国人技能実習制度」と言われています。同制度は、約30年前に始まりました。現在、7分類86職種分野において外国人を受け入れており、日本国内の受入企業は、実習生の生活環境等にかなり気を遣っていますが、世界では「労働力の搾取である」として外国人技能実習制度自体を非難する傾向があります。一番の問題は、実習生が母国の派遣元企業に支払う多額費用の返済に追われ、失踪事案等に発展する事例が多発していることであり、受入企業は、警察を始めとする関係機関と連携しつつ処遇等の改善を図っているのが現状です。

こうした批判もあり、今後も外国人技能実習制度が継続できるかは大きな課題です。しかも、世界の国々の経済が成長し、日本の賃金体系との格差がなくなれば、そもそも実習生の来日が望めません。そういった観点から推察すると、将来的には外国人の移民や移住も真剣に考える時代が到来すると思っています。

県警としては、外国人の増加に伴う様々な事件・事故等の増加が予想されますが、来日外国人等が安心して日本で生活できるように、外国人の安全・安心の確保にしっかり取り組んでいただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第31回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

- (2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答  
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがありました。
- (3) 審査請求の取下げ  
総務室から、審査請求の取下げについて伺いがありました。
- (4) 禁止命令等実施報告  
生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがありました。
- (5) 愛媛県暴力団排除条例の一部改正  
刑事部から、愛媛県暴力団排除条例の一部改正について伺いがありました。
- (6) 公安委員会表彰（感謝状）の審議  
交通部から、公安委員会表彰（感謝状）の審議について伺いがありました。
- (7) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞  
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果16件の行政処分の決定について伺いがありました。

### 3 報告事項

- (1) 令和4年中の愛媛県警察音楽隊の活動状況  
総務室長から、令和4年中の愛媛県警察音楽隊の活動状況について報告があった。  
委員から、「長引くコロナ禍の中、県警音楽隊の活動回数が増加したことは関係職員の努力の賜である。引き続き、『聴きたい』という県民の声に応えるためにもより多くの機会を設けていただきたい」との発言があった。  
委員から、「新たな施策として、県警音楽隊の演奏をライブ配信したことは、多くの県民が聴くことができる良いアイデアである。今後も幅広い年齢層に楽しんでもらえる工夫をしていただきたい」との発言があった。
- (2) 松山東警察署新庁舎の完成  
警務部長から、松山東警察署新庁舎の完成について報告があった。  
委員から、「新庁舎への移転作業を良い機会と捉えて、無駄な業務を廃止し、必要な業務を効率的に推進することができる職場環境を目指していただきたい」との発言があった。  
委員から、「警察署は、地域住民にとって灯台のようなシンボリックな存在である。引き続き、地域住民の安全・安心の確保に向け、地域住民と一体となって事件・事故等に取り組んでいただきたい」との発言があった。
- (3) 初任科第183期卒業式の実施  
警察学校長から、初任科第183期卒業式の実施について報告があった。  
委員から、「コロナ禍の中、様々な困難を乗り越えて卒業を迎えられることは喜ばしいことである。初任科生には、今後の4箇月余りの職場

実習で現場経験を踏んだ上で、初任補修科での更なる教養に励み、1日も早く戦力となっていたきたい」との発言があった。

委員から、「初任科を卒業した後も、引き続き、県警の一員として大切に育てていただきたい」との発言があった。

委員から、「卒業式に出席する予定であり、警察官として立派に育った姿を拝見できることを楽しみにしている」との発言があった。

(4) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(5) 六代目山口組傘下組員に対する暴排条例違反の適用（勧告）調査

刑事部から、六代目山口組傘下組員に対する暴排条例違反の適用（勧告）調査に関する報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、日本の人口が減少する中で、外国人の増加が予想される。治安に与える影響を考察すると、外国人犯罪の増加が考えられるほか、外国人が日本における不慣れた生活の中で、犯罪の被害や交通事故に遭遇する可能性も懸念され、現在も行っているところであるが、外国人の被害を防止することにも十分に配慮したい。なお、人口減少に伴い変化する警察事象については、不断に検証することにより、警戒の空白を生むことのないよう適切に対応してまいりたい」との発言があった。

以上